金沢龍馬會 会報
金沢龍馬会 事務局
２０２５年夏季号
通巻44号

《21名の盛会だった花見会　報告》

日時：4月5日（土）午後3；00～
会場　：鰯組（金沢市片町 1-7-13）

久し振りに金沢市片町の「鰯組」にて花見会を開催しました。 参加者は　山田/不破/蛭子/中田/吉田/紐野/中城/山崎/朝日/周藤/池田/堀野/松下/森川/野崎　　会友 岡田/上田/金原
越前龍馬会より前田/竹下/林　21 名でした。

15:00 より今年は西茶屋街を目指しました。途中 犀川大橋/亀割坂/神明宮/大蓮寺/西茶屋（諸江屋/忍者武器ミュージアム/西茶屋資料館/甘納豆かわむらなどの紹介）

15:30 よりミニ講演を行いました。今回は山田会長による「京都を龍馬と歩く」でした。

端的に記すと JR 京都駅→近江屋（遭難の地）→霊山護国神社（墓地）→伏見寺田屋（伏見奉行所による急襲の地）→JR 京都駅

山田会長談要約《龍馬さんのお墓参りに、しばしば行ってもらいたいとの思いである。（添付の一部地図は京都龍馬会作成のもの）　自分は京都駅から地下鉄他を乗り継ぎ河原町で下車する。そこは三条であり、近所に龍馬が亡くなった近江屋跡がある。

北上すると酢屋（海援隊屯所跡）、その後祇園を経由するか、幕末の史跡を見る、そして南座・八坂神社を通り過ぎ、龍馬・慎太郎像を詣り、ねねの道を通り、維新の道の坂を上るが近くに龍馬坂（葬送の坂）がある、その途中に霊明神社があり、京都龍馬会が寄贈した手水石と龍馬像がある（これには金沢龍馬会も寄付したので銘板に名称あり）、ここで龍馬の葬式をし,そこから足を進めると右側に霊山歴史館、左に霊山護国神社があり龍馬の墓があるが多くの幕末の志士の墓もある（実質「碑」が多い）。

その後伏見へ向かう。南座まで戻り電車となる。祇園四条から中書島へ。

そして龍馬が襲われお龍が裸で危機を通報した場所である寺田屋（現建物は建て替えたもの）、龍馬通り商店街、龍馬が隠れた材木小屋跡。そして京都駅へ戻る》

16:00 より親睦会でした。紐野県議による能登地震の報告を含めた挨拶・乾杯の音頭に引き続き「鰯組」東様より、多大なサービスをいただき、ビブグルマン（ミシュラン選定店）のイワシ料理のお味を堪能しました。ひとしきり歓談後、先ず会友による自己紹介、野崎氏の挨拶、そして山崎氏による一里野温泉現状が報告されました。

更に交流を継続し、越前前田会長から９月北陸三県交流会に期待しているなどの発言がありました。最後に不破県議よりトランプ関税の話を挿入した中締め挨拶があり散会となりました。

≪北陸三県龍馬会交流会≫

日時：9月27日(土)　17:00～20:00
場所：「招龍亭」（金沢市西念３丁目 5-35）
講演：未定、
演題：未定（予定）
会費：7.5 千円
なお同日午後は卯辰山周辺でエクスカーションを行います

《第 37 回龍馬 world 東アジア大会》

～バンコク＆高知　同時開催～

日時：１１月２２日（土曜日）
バンコク開催：大会・親睦会共に未定
高　知 開 催：高知県立県民文化ホールオレンジ
（高知市本町４丁目 3-30）ほか
お問い合わせ：（公社）高知市観光協会
Tel 088-823-4016
詳細は、下記（一社）全国龍馬社中ホームページをご覧ください。
https://zenkoku-ryoma-shachu.com/category/ryoma-world/
日時：11 月 22 日（土）県民文化ホールオレンジ
12:30　受付開始
13:30　開会
14:40　基調講演
16:00　パネルディスカッション

18:15　交流会
11 月 22 日(日)/23 日(祝)
エクスカーション

《志士たちが活躍した長崎とは ㉕

近藤長次郎

長崎は坂の街であり山の上まで人家で密集している、墓も斜面にあり人家と接している。

寺の山門は低層にあるが中に入ると斜面で山頂近くまでその寺の墓地である。どこがどの寺の管理する墓か境目も分からなくなる。
休みの日、住民はせっせとご先祖に会いに行く。

長崎はポルトガル人が天然の良港を求めて探し当て、当初は貿易とキリスト教布教のため開発した人工の街である。

江戸時代となり厳しくキリスト教が禁止され全住人が諏訪神社の氏子とされ、またできる限りの宗派の寺院を誘致し旦那寺となり支配を受けた。

住民は神社の氏子として秋には町々でお諏訪さんに「おくんち」を奉納し「庭見せ」で家の中まで見せキリスト教徒でないことを証明した。

寺町に長崎三大寺院の一つである曹洞宗皓台寺がある。龍馬像がある風頭山山頂近くまで墓地を保有している。そこには唐通事やオランダ通詞墓地もある広大な敷地である。

皓台寺管理の墓の数はあまりに多く歴史上の人物を探すことも大変であるが、その中に近藤長次郎の墓がある。

長崎の大富豪にして越前藩の御用商人を勤めた小曽根家墓の一角に「梅花書屋氏墓」とある。

長次郎の別名は上杉宋次郎、近藤昶次郎である。彼は高知城下の饅頭屋の息子であったため饅頭屋長次郎とも呼ばれた。

幼少時から優秀で河田小龍の塾で学び、岩崎弥太郎に師事、藩重役の下僕として江戸で学び儒学を安積艮斎、砲術を高島秋帆から学び、その後勝海舟門下となった。

名字帯刀を許され神戸の海軍操練所の責任者となった勝の私塾に入門し、聴講生として操練所で航海術を学んだ。勝が失脚後は薩摩藩が軍艦の知識を持った長次郎たちを取り込んだ。

その後、薩摩藩名義で長州が武器を購入するに際し中心的に取り仕切った。龍馬と共に亀山社中を設立した。

そしてグラバーさんよりユニオン号を購入し、薩摩では桜島丸、そして長州に名義が移り乙丑丸となった。この功により長次郎はグラバーさんの手配でイギリスへ留学する予定となった。

しかしこのことが亀山社中の仲間に漏洩し規約違反として責められ、小曽根家の離れである梅花書屋にて武士らしく自刃してしまった。

その後、長崎にやってきた龍馬は「己が居ったら殺しはせぬのぢゃった」と悔やんだ。墓碑の筆跡は龍馬だといわれている。
参照：ウキペディア、他

撮影者：吉田信夫

●年会費納入のお願い

令和７年４月から来年３月迄の年会費：
￥３，０００ー

例会ご出席の折か次の口座まで送金下さい。
郵便局　口座№　00780-5-38627
口座名義　金沢龍馬会
振込手数料は龍馬会が負担。３千円のみです。

【編集後記】

皆さま、今年も宜しくお願いします。心の中に常“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。会報も第４４号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。

********** 事務局**********

金沢龍馬会

会　　長：山田友一
事務局長：吉田信夫
080-5600-1113
jitianxinfu@hotmail.com
会報担当：中田俊郎 090-7806-2269
n-toshio@muj.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会 公式ホームページ
http://kanazawa-ryomakai.com/
金沢龍馬会 facebook
https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai?sk=wall&filter=2